２０１８年10月１日発行
社会福祉法人暁会
山口県下関市大字小野64番地の１

2018
秋号
No.76

あかつきだより

平成 30 年度　EPA 介護福祉士候補生 歓迎式

2018. 08. 07

8月7日、フェニックスのエントランスホールにて、平成30年度ＥＰＡ介護福祉士候補者の歓迎式が行われました。ＥＰＡ介護福祉士候補者とは、経済連携協定に基づいて日本の介護施設で就労・研修をしながら、日本の介護福祉士資格の取得を目指す方々のことを言います。遠い異国の地で学ぶ彼女たちの姿勢は、私たち日本人も学ぶ点が沢山あり、職場の活性化にも繋がっています。

慣れない土地での生活や仕事に不安もあると思いますが、私たち職員で少しでもその不安を取り除けるような配慮を心掛けたいと思っています。そして４年後の国家試験合格を目指して、職員一同全力でサポートしていきます。

チャン ティ ホア さん

ベトナムから日本に来て、今３ヵ月くらいです。日本にいても時々ベトナムにいるような気がします。
子供の頃、日本といえば「富士山、桜、冬の寒さ」それだけは知っていました。
大学を卒業した時、何かにチャレンジしたくて、海外に住みたいと思っていたら、丁度友達が「日本へ行きましょうか」と誘ってくれたので、私はすぐに同意し、それから日本語の勉強が始まりました。
今は日本の施設「フェニックス」で、介護福祉士候補として働いています。将来は優しくて、利用者が信じられる介護福祉士になりたいです。これからもっと頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

日本は、景色がきれいで、車が多く、自動販売機やお店もたくさんあってとても便利です。そして施設の皆さんは、親切で優しく感謝しています。
日本の食べ物は、どれも美味しいですが、特にお寿司とケーキが大好きです！
趣味は、音楽を聴くことと旅行、そして人の笑顔を見るのが好きです。
これが介護福祉士を目指した１つのきっかけです。
今後は、仕事をしっかり覚えて、日本語がもっともっと上手くなるように頑張ります。
将来は、利用者さんを笑顔にできる介護福祉士になりたいと思っています。
どうぞよろしくお願いします。

ファム ティ ミン フエ さん

フェニックス夏祭り

2018. 08. 18

8月18日（土）第21回フェニックス夏祭りが開催されました。4月から実行委員21名で協力し、入居者様や利用者様、来場される方々に楽しんで頂けるよう企画案を考え準備してきました。

今年は新しい企画として、フェニックス夏祭りのうちわをお来場者様に無料配布、お子様限定の無料ゲームコーナーの設置、ゲームコーナーではゲーム内容を増やし、カエルたたきゲームを追加した企画を組みました。

イベントでは、「カラオケ・キッズダンス・よさこい・勝山音頭・平家踊り・抽選会」など多くのイベントを行いました。

今年は多くの方が来場され、イベントや夜店・ゲームも盛況で売り切れになるほどでした。

連日猛暑日が続き皆様の体調面が気になりましたが、特にトラブルや事故もなく無事に夏祭りを終えることができました。

実行委員をはじめ、ボランティアの方・協力職員等、多くの方々にご協力いただき、本当にありがとうございました。

託児所あいあい

元気と笑顔がモットーのフェニックス託児『あいあい』です。4月当初、入所児1名でしたが8月より1歳児1名が増え、笑いあり涙ありの楽しい毎日を過ごしています。9月以降、数名の入所を予定しているので益々賑やかになることと思います。

日頃は室内にてブロック・パズル・ままごと等の玩具や絵本・シール貼りなどして過ごしていますが、時には館内各部署の運動会、そうめん流し、誕生日会などのイベントに参加させて頂いています。また、子ども達に季節を身体で感じ草花や小動物に興味を示し好奇心や探求心をたくさん養ってもらいたいと散歩や戸外の活動を多く取り入れるようにしています。

7月からは給食も始まりました。調理師さんが小さな子でも食べやすい工夫をしてくれているので栄養のバランスもとれ、いろいろな食材に触れる機会も増え、食に対する興味・関心も強くなってきたように感じています。

『あいあい』の子ども達は、職員はもちろん、入所者様・利用者様からも愛されており、保育室へ遊びにきて下さったり、皆さんどこへ行っても優しく声をかけて下さり、いつも笑い声が絶えません。

これからも皆様の元気・笑顔の源となるような託児所でありたいと思っています。何かお困りの事がありましたらまずはご相談下さい。出来る限りのサポートをさせて頂きます。よろしくお願いします！

8月25日～26日、第41回馬関まつりが開催されました。下関市民にとっては、とても馴染み深い夏の風物詩となっている馬関まつりですが、中でもまつりのクライマックスを飾る平家踊り総踊り大会は４０００人ほどの踊り手が会場を埋め尽くし迫力満点の踊りを披露しました。暁会各事業所からは88名の有志が参加し、まつりに華を添えました。三味線、音頭、太鼓、踊りの渾然一体となった早いリズムが力強いエネルギーを醸し出し、踊り手の熱気が伝わり、沿道の観客も見入っていました。

まつり当日を迎えるまでには、平家踊りの講師を招いて熱心に指導して頂きました。講師から「美しく踊ることも大切だけれど、何より楽しく踊ることが一番」との言葉がありました。参加した88名全員が楽しく笑顔で踊れていたと思います。

平家踊りは、寿永の昔、平家終焉の哀史以来、壇の浦において御入水あそばされた安徳天皇の霊をお慰めすると共に、平家一門の供養のために源を発したと言い伝えられています。ベテランから若手まで職員一丸となって総踊りに参加することで、この由緒ある踊りを少しでも受け継いでいきたいと思います。

馬関まつり総踊り

2018. 08. 26

手作りお手玉寄贈

2018. 09. 11

9月11日、県議会議員　平岡望様より、後援会女性部会の方々お手製のお手玉を寄贈いただきました。

手作りの温もりに入居者様も喜ばれていました。

しものせき未来創造　JOB フェア

2018．08.08～09

しものせきの地元企業・団体の活動を紹介し、中高校生等が仕事の魅力や地域社会との関わり等を体験することで、働くことの意味やビジョンを描くとともに、しものせきでの就職を意識させることを目的とした職業体験イベント『しものせき未来創造ｊｏｂフェア』に今年も２年連続で特定医療法人茜会とともに暁会も出展し、市内の45の企業や団体が出展し盛大に開催されました。

８月８日（水）、９日（木）２日間で合計４５００名程度の来場者があり、暁会のブースでは５５１名の中高生や一般参加者が体験されました。

暁会では高齢者疑似体験と介助体験として、高齢者疑似体験セットを着用し、歩行や床に落ちた杖を拾う体験、車いすの操作や介助の体験を通じて、福祉の仕事体験と介助される側の体験をしていただきました。中高生も膝や肘の関節が動きづらくなると、『これは大変』『じいちゃん、ばぁちゃんを大切にしよう』、『車いすの操作が難しい』等、色々な意見が飛び交っていました。

２日間通じて21名の協力職員のもと出展し、始めて参加した職員も『いい経験ができた』『楽しかった』と振り返っていたため、出展したことによるさまざまな効果があったと感じています。

介護の担い手が不足する中で、活力ある学生たちに少しでも興味を持っていただき、介護職を志す若者が少しでも増えてくれることを期待しています。次年度も開催され、依頼があれば参加させていただきたいと思います。

敬老会

特別養護老人ホームフェニックス一の宮

2018. 09. 17

9月17日月曜日に平成30年度敬老会を行いました。今回は、14家族22名のご家族が参加されました。ご長寿のお祝いとしまして、参加されたご家族様から、古希1名、傘寿2名、卒寿2名、白寿1名の入居者様へ花束を贈呈して頂きました。又、職員より全入居者様へ花束を贈呈いたしました。花束を受け取られた入居者様は、涙を流して喜ばれる方もおり、皆様嬉しそうな様子が会場内で見られました。

花束贈呈に続き、角田恵美様によるエレクトーン演奏の演芸披露がありました。『川の流れのように』『津軽海峡冬景色』『赤とんぼ』『ふじの山』『上を向いて歩こう』等を一緒に歌ったり、『笑点』『水戸黄門』のテーマソングを演奏し、口ずさまれている入居者様もいました。ご家族様、入居者様一緒になって楽しんでいらっしゃいました。

敬老会終了後はユニットに戻られ、入居者様はご家族と一緒に昼食を食べられました。お食事中、至る所で話が盛り上がっており、楽しく過ごされておりました。また、職員も、ご家族と交流させていただける良い機会の場となりました。施設での生活のご様子をお伝えしたり、ご入居以前のお話などを聞くことができ、今後の入居者様の支援に活かしていきたいと思いました。

来年度も入居者様のご長寿を皆でお祝いしたいと思います。